

地域創生事業助成金 実施計画書兼実績報告書（事業別）
（地域活動支援事業及び地域計画推進事業）

事業実施団体	自主防災会	
事業名	1	地域防災力向上事業

項目	計画	実績
事業内容	・ 防災訓練の実施 ・ 防災研修会の実施 ・ 防災資機材の点検整備 ・ 緊急連絡体制の確立	・ 防災士のブラッシュアップ研修会参加 ・ 防災意識向上のため防災フェスタ開催 ・ 普通救命講習の実施 ・ 原小学校、高齢者学級にて防災研修会 ・ 福岡市防災センターにて防災研修実施 ・ その他要支援者リストの作成等
事業対象者	原地区民	
参加者数（人）	2,000	2,000
事業効果	研修や訓練などを通じて、地域の防災力を高める	・ 宇部市内初の防災フェスタ、防災アンケート等を実施し、地区住民の防災意識が向上した ・ 防災リーダーとしての防災士のレベルアップが図られた
事業期間	令和5年4月～令和6年3月	令和5年4月～令和6年3月
予算額/決算額（円）	295,000	323,413
助成金充当額（円）	50,000	50,000
主な事業指標	指標名	防災フェスタ参加人数（人）
	目標値/実績値	500 / 1,000
	達成・未達成の要因	多くの住民が参加した防災フェスタなど各事業を通じて、防災意識はかなり向上したが、全戸アンケート調査の結果、回収率49%で自治会によりバラツキがあり、今後の課題。助成金は有効に活用した。

実績に伴う評価 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	3
	助成金を有効に活用できましたか	3
	多くの住民の参加が得られましたか	3
	今後も事業継続できますか	3

地域創生事業助成金 実施計画書兼実績報告書（事業別）
（地域活動支援事業及び地域計画推進事業）

事業実施団体	体育振興会	
事業名	2	健康づくり事業

項目	計画	実績
事業内容	・グラウンド・ゴルフ大会 ・市民ソフトバレーボール大会 ・ニュースポーツペタンク大会 ・カローリング大会 ・市民球技大会（ソフトボール） ・バドミントン大会	・グラウンド・ゴルフ大会 ・市民ソフトバレーボール大会 ・ニュースポーツペタンク大会 ・カローリング大会
事業対象者	原地区民	
参加者数（人）	500	300
事業効果	スポーツ事業を通じて、健康づくり推進と地域の発展に貢献する	スポーツ事業の実施により、地域住民との親睦・健康づくりに貢献できた。
事業期間	令和5年4月～令和6年3月	令和5年4月～令和6年3月
予算額/決算額（円）	80,000	78,387
助成金充当額（円）	78,000	78,000
主な事業指標	指標名	スポーツ事業参加人数（人）
	目標値/実績値	200 150
	達成・未達成の要因	参加チーム不足により中止になった事業、参加チームが少ない事業があり、当初の目標を達成することができなかった。全体的に若い人の参加が少ない。子どもから高齢者まで楽しめる競技を取り入れる必要がある。

実績に伴う評価 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	2
	助成金を有効に活用できましたか	3
	多くの住民の参加が得られましたか	2
	今後も事業継続できますか	2

地域創生事業助成金 実施計画書兼実績報告書（事業別）
（地域活動支援事業及び地域計画推進事業）

事業実施団体	原小学校学校運営協議会、黒石中学校学校運営協議会	
事業名	3	コミュニティスクール推進事業

項目	計画	実績
事業内容	・学校、家庭、地域の連携・協働による教育活動 ・学校運営、学校支援、地域貢献 ・コミスクルーム（地域交流室）の整備 ・学校支援ボランティアの確保 ・図書館教育の充実 ・幼保小中一貫教育の推進	地域学校協働活動の推進 ・児童生徒参画型や小中合同の学校運営協議会 ・原地区コミュニティ行事への参加 ・中川、地域清掃への参加 ・地域の方への感謝の会「ハートフルタイム」 ・地域コーディネーター、地域ボランティアによる授業支援、環境整備等 ・「みんなの原っぱ」（ふれあいセンターでの学習会・体験活動）
事業対象者	原小学校児童、黒石中学校生徒、教員、保護者、原地区地域住民	
参加者数（人）	1,000	1,000
事業効果	・児童を中心に据えることで保護者の参加意識も高まり、地域の方との結び付きも深くなる。さらに、児童の「自分たちが学校や地域をつくっていくんだ」という意識や「自己肯定感・自己有用感」「地域愛」も高まっていく ・コミスクルームを設置・整備することで学校運営協議会委員や地域の方が気軽に集い、児童との関わりも持てる場となる ・地域行事への参加や地域との連携を図る学習活動を積極的に推進することで、生徒の地域に貢献する意識が高まる	・黒石中学校区3校合同学校運営協議会を実施し、小小連携や小中連携を図ることができた。5、6年生が参画し熱議を通して児童や保護者、地域の方、教職員の思いや願いをすりあわすことができ、地域貢献や地域づくりの意欲向上につながった。 ・中学生が地域の人とふれあう良い機会となった。 ・学校現場での働き方改革に繋がる活動となった。
事業期間	令和5年4月～令和6年3月	令和5年4月～令和6年3月
予算額/決算額（円）	100,000	125,000
助成金充当額（円）	75,000	75,000
主な事業指標	指標名	原小：【学校評価アンケート】「地域の人に感謝の気持ちをもっている」 黒石中：学校支援ボランティア人数
	目標値/実績値	原小：肯定意見80%以上 黒石中：700人
	達成・未達成の要因	【原小】今年度はコロナ等による制限もなくなり、様々な地域学校協働活動を推進することができた。 【黒石中】多くの地域ボランティアが来校し、本校教育活動に授業支援や放課後学習会、環境整備活動、面接指導など充実した活動になった。

実績に伴う評価 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	3
	助成金を有効に活用できましたか	3
	多くの住民の参加が得られましたか	3
	今後も事業継続できますか	3

地域創生事業助成金 実施計画書兼実績報告書（事業別）
（地域活動支援事業及び地域計画推進事業）

事業実施団体	社会福祉協議会	
事業名	4	自治会福祉事業

項目	計画	実績
事業内容	・敬老事業支援 ・ふれあい・いきいきサロン活動支援 ・高齢者ふれあい訪問活動推進 ・長寿者祝賀事業 ・諸団体の福祉活動支援 ・「福祉だより」発行	・敬老事業支援 ・ふれあい・いきいきサロン活動支援 ・高齢者ふれあい訪問活動推進 ・諸団体の福祉活動支援 ・「福祉だより」発行
事業対象者	原地区民	
参加者数（人）	2,000	2,100
事業効果	高齢者の身近な仲間づくり、健康保持を目的とした福祉活動の推進	「誰もが住みよいまちづくり」を旨とした地域福祉活動の推進
事業期間	令和5年4月～令和6年3月	令和5年4月～令和6年3月
予算額/決算額（円）	2,397,000	2,009,892
助成金充当額（円）	839,200	839,200
主な事業指標	指標名	敬老事業参加人数（人）
	目標値/実績値	1,000 / 1,167
	達成・未達成の要因	以前のコロナ禍に比べて敬老会等を実施する自治会が増えた。

実績に伴う評価 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	2
	助成金を有効に活用できましたか	3
	多くの住民の参加が得られましたか	3
	今後も事業継続できますか	3

地域創生事業助成金 実施計画書兼実績報告書（事業別）
（地域活動支援事業及び地域計画推進事業）

事業実施団体	ふれあい運動推進員会、まちづくりサークル、子ども委員会、根っこの会、原蓮鼓太鼓	
事業名	5	原っ子健全育成事業

項目	計画	実績
事業内容	・見守り声かけ・あいさつ運動 ・子ども110番の家サポート活動 ・駅前花壇整備活動 ・料理教室（男性対象・親子対象等） ・健康ハイキング ・稲作体験、炭焼きパン作り体験、親子ふれあい体験活動、地区内探検 ・子ども太鼓、原蓮鼓太鼓活動 ・輪飾り、和風、門松づくり教室	・見守り声かけ、あいさつ運動、街頭補導 ・子ども110番の家サポート活動 ・駅前花壇整備活動（春・秋） ・料理教室（男・親子・魚料理） ・健康ハイキング ・稲作体験、炭焼きパン作り、キャンプ、通学合宿、放課後子ども教室 ・子ども太鼓（蓮子太鼓の後継者育成、月2回の練習）、和太鼓体験会 ・輪飾り、和風、門松づくり教室
事業対象者	原小児童、黒石中生徒、原地区民	
参加者数（人）	1,000	900
事業効果	・多世代の地区住民の親睦を図り、地域の連帯感を強める ・青少年の非行防止、健全育成 ・さまざまな体験活動を通して子ども達の自主性や協調性を育む	・子ども達の健全育成の一助、地域住民への周知。 ・稲作やキャンプ等の活動で子ども達の自主性がはぐくめた。 ・太鼓の参加者が増えた。
事業期間	令和5年4月～令和6年3月	令和5年4月～令和6年3月
予算額/決算額（円）	349,400	469,452
助成金充当額（円）	334,400	334,400
主な事業指標	指標名	各種活動参加者（人）
	目標値/実績値	延500 700
	達成・未達成の要因	新型コロナの蔓延が緩和され企画が少しずつ前向きに進んだ。

実績に伴う評価 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	2
	助成金を有効に活用できましたか	3
	多くの住民の参加が得られましたか	2
	今後も事業継続できますか	3

地域創生事業助成金 実施計画書兼実績報告書（事業別）
（地域活動支援事業及び地域計画推進事業）

事業実施団体	人権教育推進委員協議会	
事業名	6	人権啓発事業

項目	計画	実績
事業内容	・ 原地区人権教育研修会 ・ 厚南 4 地区人権教育研修会 ・ 学童保育クラブ人権学習会 ・ 人権作文・ポスター・標語・習字作品募集 ・ 小学校の授業参観、講演会出席 ・ 推進委員研修 ・ 自治会人権学習会	・ 原地区人権教育研修会 ・ 厚南 4 地区人権教育研修会 ・ 学童保育クラブ人権学習会 ・ 人権作文・ポスター・標語・習字作品募集 ・ 小学校の授業参観、講演会出席 ・ 推進委員研修 ・ 自治会人権学習会
事業対象者	原地区民、厚南 4 地区民、学童保育	
参加者数（人）	450	440
事業効果	・ 地域住民の人権意識の高揚 ・ 人権が尊重される心豊かな社会の実現	地域住民が研修会等に多く参加することによって、多様な人権について考え話し合う機会が増え、人権意識が高まった。
事業期間	令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月	令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月
予算額/決算額（円）	146,000	135,000
助成金充当額（円）	15,000	15,000
主 な 事 業 指 標	指標名	人権教育研修会等合計参加人数（人）
	目標値/実績値	450 440
	達成・未達成の要因	コロナ以前のように行事が行われ、人数制限も緩和されたことにより参加人数が増えてきた。学習会を開催する自治会も増えた。

実績に伴う評価 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	2
	助成金を有効に活用できましたか	3
	多くの住民の参加が得られましたか	2
	今後も事業継続できますか	3

地域創生事業助成金 実施計画書兼実績報告書（事業別）
（地域活動支援事業及び地域計画推進事業）

事業実施団体	交通安全対策協議会	
事業名	7	交通安全推進事業

項目	計画	実績
事業内容	・春、夏、秋の交通安全週間の立哨 ・子ども達の通学歩道における安全確保	・通学路の安全強化 ・横断歩道の渡り方から正しい自転車の乗り方指導 ・高齢者の安全確保
事業対象者	原地区交通指導員、推進員	
参加者数（人）	100	300
事業効果	各自治会の協力のもと通学路の安全を守り、事故の無い安心・安全な交通環境をつくる	安全第一を心掛け、事故の無い子ども達の楽しい登下校の一助となったと思う。
事業期間	令和5年4月～令和6年3月	令和5年4月～令和6年3月
予算額/決算額（円）	99,940	100,180
助成金充当額（円）	30,000	30,000
主な事業指標	指標名	立哨人数総員（人）
	目標値/実績値	500 / 350
	達成・未達成の要因	登下校時の立哨はできているので、今後も子ども達の安全確認を十分行い、無理な行動を避けるように見守っていきたい。

実績に伴う評価 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	3
	助成金を有効に活用できましたか	2
	多くの住民の参加が得られましたか	3
	今後も事業継続できますか	3

地域創生事業助成金 実施計画書兼実績報告書（事業別）
（地域活動支援事業及び地域計画推進事業）

事業実施団体	環境衛生連合会	
事業名	8	環境美化事業

項目	計画	実績
事業内容	・ 地区行事でのごみ分別指導・啓発活動 ・ 河川の清掃作業（梅田川、中川） ・ 地区内美化パトロール ・ ごみのポイ捨て禁止等看板の設置 ・ 環境視察研修	・ 地区行事でのごみ分別指導・ポイ捨て禁止啓発活動 ・ 河川の清掃作業（梅田川、中川） ・ 地区内美化パトロール（年2回） ・ ごみのポイ捨て禁止等看板の点検 ・ 環境視察研修
事業対象者	原地区民	
参加者数（人）	500	1,000
事業効果	・ 環境美化活動を行うことで、生活環境をより良いものとする ・ 地区で美化活動を実施し、ゴミのポイ捨てや不法投棄の減少を目指す	身近な所から環境美化活動を行うことで、生活環境をより良いものとし、環境問題への意識が向上した。
事業期間	令和5年4月～令和6年3月	令和5年4月～令和6年3月
予算額/決算額（円）	510,000	379,429
助成金充当額（円）	90,000	90,000
主な事業指標	指標名	梅田川清掃参加者（人）
	目標値/実績値	100 / 130
	達成・未達成の要因	自然豊かな住みよいふるさとを目ざして、下流地域の水害対策に重要な役割を果たす梅田川の清掃作業を毎年行っている。

実績に伴う評価 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	3
	助成金を有効に活用できましたか	3
	多くの住民の参加が得られましたか	3
	今後も事業継続できますか	3

地域創生事業助成金 実施計画書兼実績報告書（事業別）
（地域活動支援事業及び地域計画推進事業）

事業実施団体	郷土史研究会	
事業名	9	地域資源活用事業

項目	計画	実績
事業内容	・ 厚南・原地区の歴史研究 ・ 原小学校児童への地域歴史教育 ・ 原地区老人クラブ、高齢者学級での講話 ・ 原地区の史跡看板設置	例会にて、原、厚南地区の歴史研究 8月：高齢者学級にて、防災歴史講演 9月：原小学校にて防災歴史授業 11月：原小学校へ出前授業、史跡巡り 12月：松江八幡宮にて、歴史講演 2月：厚南中学校にて、河川史講演他
事業対象者	原地区民	
参加者数（人）	延300人	児童：延120、高齢者・生徒：延180
事業効果	原地区の歴史・史跡などを知り、地区民に広め、地区民の文化レベルを向上し、郷土愛を深める。	出前授業、史跡巡りウォーキング、歴史講演会等を実施し、多少とも地域の歴史を知り、住みやすい街づくりへの意識が向上した。
事業期間	令和5年4月～令和6年3月	令和5年4月～令和6年3月
予算額/決算額（円）	240,000	22,990
助成金充当額（円）	20,000	20,000
主な事業指標	指標名	郷土史研究会定例会開催（回）
	目標値/実績値	例会：20回、授業・講演会など4回 例会：17回、授業講演会：4回
	達成・未達成の要因	例会（研究会）は大雨等による中止などのより、若干、回数限。 小学校での歴史授業、史跡巡りウォーキング、高齢者学級出の歴史講演会は予定通り開催できた。

実績に伴う評価 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	2
	助成金を有効に活用できましたか	3
	多くの住民の参加が得られましたか	3
	今後も事業継続できますか	3

地域創生事業助成金 実施計画書兼実績報告書（事業別）
（地域活動支援事業及び地域計画推進事業）

事業実施団体	コミュニティ推進協議会	
事業名	10	コミュニティ行事運営事業

項目	計画	実績
事業内容	・夏まつり ・原地区コミュニティ大運動会 ・原ふれあいまつり ・三世代ふれあいグラウンド・ゴルフ大会 ・どんど焼き	・夏まつり ・原地区コミュニティ大運動会 ・原ふれあいまつり ・三世代ふれあいグラウンド・ゴルフ大会 ・どんど焼き、凧揚げ大会
事業対象者	原地区民	
参加者数（人）	3,000	3,200
事業効果	・多世代が参加できる行事や活動を通じて、若い世代にも地域の魅力を知ってもらい、若い世代とともに魅力ある地域づくりを目指す ・多世代間の交流を活発にし、地区コミュニティの活性化と地域の連携強化	新型コロナが2類から5類に緩和され、その影響が少なくなった故、各事業が予定通り、実施できた。 地域住民も待ち焦がれていたように、各事業に多くの参加者があった
事業期間	令和5年4月～令和6年3月	令和5年4月～令和6年3月
予算額/決算額（円）	860,000	1,139,702
助成金充当額（円）	17,700	17,700
主な事業指標	指標名	原ふれあいまつり参加者（人）
	目標値/実績値	500 900
	達成・未達成の要因	新型コロナの部類が緩和されたと言いながら、インフルエンザなど感染症の流行などがあり、予断を許さなかったが、運動会を半日開催で実施したり、手指の消毒やマスクの着用など対策を行いつつ行事を開催した。

実績に伴う評価 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	3
	助成金を有効に活用できましたか	3
	多くの住民の参加が得られましたか	3
	今後も事業継続できますか	2